

会 議 記 録 (1)

会議名称	第1回第四次北本市障害者福祉計画並びに 北本市第八期障害福祉計画及び北本市第四期障害児福祉計画策定委員会				
開会及び 閉会日時	令和8年6月25日(木) 午前9時30分から10時50分まで				
開催場所	北本市市役所3-A・B会議室				
議長氏名	委員長 高島恭子 副委員長 鈴木洋行				
出席 委員(者) 氏 名	諏訪千加子	坂本輝之	米山清美	真田牧人	関口暁雄
	長岩透	三浦徳子	曾根康乃	増田理恵	平尾良雄
	浅沼丈子	吉田美佐男			
欠席 委員(者) 氏 名	横田清				
説明者の 職 氏 名	障がい福祉課 湯原主任				
事務局職 員職氏名	障がい福祉課	森課長	障がい福祉課	渡辺主幹	
	障がい福祉課	栗原主査	障がい福祉課	大伍主査	
	障がい福祉課	湯原主任			
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 委員紹介 4 委員長・副委員長選出 5 議事 (1) 計画の概要について (2) 計画策定のスケジュールについて (3) アンケート調査、事業所・団体ヒアリング調査の結果について (4) 次期計画の構成案について 6 その他 7 閉会				
配布資料	会議次第 策定委員会名簿 策定委員会設置要綱 資料1 北本市の障害福祉に関する計画 資料2 計画の位置づけ 資料3 「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針」改正後 概要 資料4 計画策定のスケジュール 資料5 各種調査を踏まえた課題まとめ 資料6 アンケート調査結果報告書 資料7 事業所・団体ヒアリング調査結果まとめ 資料8 構成案(目次案) 冊子 第三次北本市障害者福祉計画 中間年の見直し 冊子 北本市第七期障害福祉計画・北本市第三期障害児福祉計画				

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会 2 あいさつ 森障がい福祉課長よりあいさつ 3 委員紹介 4 委員長・副委員長選出 委員より、委員長に高島委員、副委員長に鈴木委員の推薦がある。 委員一同の承認を得て決定。 高島委員長、鈴木副委員長よりあいさつ 5 議事 策定委員会の設置要綱により、委員長が議長となる。 以降、議事進行を務める。
高島委員長	本会議の公開について、北本市の附属機関等の会議の公開に関する規則第二条の規定により、会議の公開、または非公開を委員の皆様にお諮りしたうえで決定することとされている。本会議は公開でよろしいか。
委員	(異議なし)
高島委員長	それでは、本会議を公開とさせていただきます。
	(1) 計画の概要について
事務局	(事務局より、資料1・資料2・資料3に基づき説明)
高島委員長	意見等はあるか。
委員	(意見等なし)
	(2) 計画策定のスケジュールについて
事務局	(事務局より、資料4に基づき説明)
高島委員長	意見等はあるか。
委員	(意見等なし)
	(3) アンケート調査、事業所・団体ヒアリング調査の結果について
事務局	(事務局より、資料5・資料6・資料7に基づいて説明)

会 議 記 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
高島委員長	意見等はあるか。
平尾委員	整理の内容は良いが、解決にあたっては様々な課題が想定され、市の状況も変わっている。北本市の人口は減少しているが、障がい者の人口は増えていると思う。このような中で、支援者の確保も必要だと考える。
事務局	人口は減少しているが手帳所持者の総数は増加している。身体障害者手帳の所持者数は若干減少、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳の所持者数は増加傾向にある。 支援者の確保も課題であり、国の指針でも人材確保が目標の1つとして新たに追加されている。
平尾委員	支援者が確保できているか確認する必要があるのではないかな。
事務局	事業所へのヒアリング調査の回答から、多くの事業所が職員の定着や人員体制の確保に関する課題を抱えていることを把握している。前述のとおり国の指針でも示されているため、国や県の考え方を踏まえて今後具体的な施策を検討したい。
真田委員	手帳所持者とサービス受給者の比率の差が気になった。手帳取得後にサービス利用につながっていないのか、そもそもサービスを必要としていないのか興味がある。それに基づいて福祉サービス事業者は事業を展開する必要があると考えている。 アンケート調査の対象者の抽出の際に、サービス利用の有無等の考慮があったのか確認したい。
事務局	18歳以上の手帳所持者1,000人、18歳未満の手帳所持者またはサービス利用のある児童の保護者100人を対象としたが、抽出の際に考慮したのは障害別の割合のみで、サービス利用の有無は考慮していない。
関口委員	人材・財政など色々な問題があるので、優先順位をつける必要があると考える。また、前回の課題の達成状況はどうなのか。それを踏まえて検討いただきたい。
事務局	市の取組状況については次回会議で提示する。
高島委員長	中間年の見直しも行っているなので、現在の進捗を確認しながら前に進められれば良いと思う。他に意見がないようであれば次に進む。
	(4) 次期計画の構成案について
事務局	(事務局より、資料8に基づいて説明)

会 議 記 録 (4)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
高島委員長	意見等はあるか。
坂本委員	話が戻ってしまうが、アンケート結果をみると数年前から同じような課題があり、改善されていないように感じる。改善の見込みがあれば教えていただきたい。
事務局	解決が難しい部分もあり、前々からの課題が残っていることも事実である。また、障がい者の数も年々増加しており、対策が追い付いていないという理由もある。具体的な市の方針については今後の会議で提示するため、市の取組状況や進捗状況を踏まえてご審議いただきたい。また、いただいたご意見については随時検討していく意向である。
坂本委員	課題への対応は予算がないため実施できないのか。また、個別の意見はこちらの委員会に出せばいいのか伺いたい。
事務局	個別の課題への対応についてはこの場で回答できない。個別に協議の場を設けているので、本委員会では障がい福祉に係る総合的な話を議論いただきたい。
高島委員長	課題が残っている状況ではあるが、長い目でみると少しずつ変化していると思う。進捗状況を確認した上で、取り組む優先順位を決めていければ良いと思う。
平尾委員	坂本委員の話を聞いて課題の内容を読み直すと「不安」という言葉が多く出ている。この不安の解決が大切だと感じた。
真田委員	次期計画では人材確保に関する施策を充実させてほしい。 また、アンケートではどうしても行政への要望が多くなってしまうが、行政のみではなく、自助・共助・公助の整理を進め、市民や事業者、関係機関との一体的な推進が必要ではないか。
浅沼委員	障がいのある方は片付けが苦手な人が多いと思う。市民ボランティアによる日常的なサポートなど、そのような活動を推進できれば良いと感じた。
関口委員	ボランティア活動などインフォーマルな支援や地域の支え合いが今後重要だと考える。
真田委員	現行の障害者福祉計画の２９ページのような事業評価は提示いただけるのか。
事務局	現在取りまとめている。次回会議で提示する予定。
高島委員長	他に意見がなければ以上で議事を終了する。 進行を事務局にお返しする。

会 議 記 録 (5)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	6 その他 ・ 今後のスケジュールについて 7 閉会 鈴木副委員長よりあいさつ